

鑑賞教育の基礎・基本を探る

伊澤百子

Seeing the Fundamentals in Appreciation Education

Momoko IZAWA

小論では先行研究における方法論と、それに裏付けられた具体的な授業実践、さらに方法論がとくに自覚されていない学校外の実践内容を考察したが、その過程で、美術鑑賞教育における基礎・基本としていくつかが抽出された。その方法論的基礎・基本として次の四つを提案したい。

第一に、作品を「見て」、その意味を「感じる」ことの繰り返しを行うこと。第二にその際、概念化というヒントを与えること。第三に、児童・生徒の視点を尊重し、個人的な興味・関心を持たせること。その際、彼らの心理的・精神的なあり方、倫理意識の発達課題を踏まえること。第四に、作品と慣れ親しむ時間を確保すること。この四つである。